

令和3年度 第1回博物館協議会 議事録

日時：令和3年6月29日（火）13：30～15：30

場所：八戸市博物館 2階 体験学習室

出席委員(10名)

(会長) 工藤 竹久
(副会長) 滝尻 善英
加藤 真人
有馬 克美
平間 恵美
川口 桂子
正部家 朱美
鈴木 規夫
野田 明広
磯沼 チヨ

事務局出席者(11名)

伊藤 博章 (教育長) 委嘱状交付後退席
石亀 純悦 (教育部長)
中里 充孝 (教育部次長兼教育総務課長)
小保内 裕之 (博物館館長)
下村 恒彦 (博物館副館長)
竹洞 一則 (資料館館長)
船場 昌子 (博物館主幹)
米田 司 (博物館主査)
野沢 江梨華 (博物館主査兼学芸員)
横沢 杏奈 (博物館主事)
中尻 貴之 (資料館主事兼学芸員)

次第

- 1 委嘱状交付
- 2 開会
- 3 教育長挨拶
- 4 会長挨拶
- 5 案件
 - (1) 令和2年度事業実施報告について
 - (2) 令和3年度事業計画について
 - (3) その他

※1～4省略

【5案件（1）令和2年度事業実施報告 質疑応答】

（事務局説明後、質疑応答）

工藤会長

事務局から令和2年度の事業報告がありましたが、この説明について何か質問はございますでしょうか。

ないようでしたら私からお聞きします。先ほど市民講座をリモートで実施したという説明がありましたが、リモートでの開催に問題などありませんでしたか。

事務局

初回の講座では講師との通信がうまくいかない時間帯が多少ありましたが、それ以外には特に大きな問題もなく実施できております。

工藤会長

講座に申し込みをした人だけではなく、一般の方が自由にアクセスできるようにはならないのでしょうか。

事務局

今回に関しては、講師と1対1での通信するシステムのもと実施したものです。今後、一般の方もアクセスできる方法も検討したいと思っておりますが、現段階では参加を申し込んでもらった方を優先する方法で進めていく方針でおります。

工藤会長

講師の顔触れを見ると著名な方ばかりですので、一般の方もアクセスできるような環境を整備できれば閲覧者は増えると思います。できれば検討してほしいなと思いますね。ほかに何かございますでしょうか。

有馬委員

以前からホームページの充実やリニューアルをお願いしておりましたけども、先日ようやくホームページがリニューアルされたようでよかったと思っています。これまでものは、はっちなど他のホームページに比べてどうしても見劣りしていましたので、大幅に改善されてよかったと思っています。

今後は、内容の充実に力を入れてもらえればと思っています。

事務局

おかげさまで、今年3月にホームページをリニューアルできました。ご意見のとおり今後さらに内容を充実させていきたいと思っておりますので、引き続きよろしく申し上げます。

【案件5（2）令和3年度事業実施報告 質疑応答】

工藤会長

説明について何か改めてお聞きしたいということもあると思います。意見を出していただければと思います。

鈴木委員

八戸工業大学共同研究で開発した奥州道中クイズアプリについてですが、アプリの概要などお知らせいただければと思います。

事務局

このアプリは、八戸から江戸までの参勤交代ルート上にある宿場町などにまつわるクイズを出し、何問正解できるか点数を競うという内容になっております。小学生から楽しめる内容になっています。

鈴木委員

小学校の歴史の授業で活用できるのではと思いましたが、学校のパソコンからこのアプリは利用できるのでしょうか。

事務局

あくまで館内の展示に連動するように作成したものですので、現在のところは学校から利用できない仕様になっています。

授業での活用については、今後、八戸工業大学との打合せの中で確認したいと思います。

野田委員

体験学習会「寺子屋はちはく」についてですが、これは学校単位、学級単位で利用できるのでしょうか。チラシには教員の参加も歓迎とありますが、教員の研修に活用できるものか教えてください。

事務局

「寺子屋はちはく」は、昨年コロナの影響で夏休み期間中に郷土学習の機会がなくなってしまったため、その代替りとしてはじめたもので、1日1組に限定して行っています。

学校単位をターゲットにした講座としては、学芸員が学校に伺って行う講座や、学校単位で施設見学に来た際に全体に向けて行う講座がありますので、そのような既存の方法で利用いただければと思います。

学校の先生につきましては、やはり我々が今やっている活動がうまく伝わっていないと感じておりますので、それを解消する意味でも教員の研修に活用していただきたいと考えております。

工藤会長

新たな事業をはじめたということがまだ浸透していないように思いますので、もっとPRできればいいですね。他にございますでしょうか。はい、川口委員。

川口委員

今年度は中世から幕末までダイナミックな特別展が目白押しで大変楽しみにしています。私は以前からその年の大河ドラマと連動させた歴史解説コーナーみたいなものがあれば、より気軽に来館してもらえるなど考えています。

去年は「麒麟がくる」でしたから、戦国時代の南部地方の様子、今年は廃藩置県150年という特別展もありますよね。今の「晴天を衝け」は幕末なのでそれぞれのドラマの歴史の流れや、ゆかりのあるキーパーソンとか、そういったものを通して南部地方八戸藩を見るというコーナーがあれば、親しみやすくなるのではないのかなと思っております。

特別展と大河ドラマとを連動させるのはなかなか難しいのかなという気はしますが、気軽に歴史に入っていけるという企画では考えてみていただいてもいいのかなと考えています。

工藤会長

大河ドラマと連動するような話題があれば、もっと足を運んでももらえるかもしれないですね。若い学芸員さんたちもおりますので、ぜひ頑張ってもらいたいなどと思っています。他に何かありませんか。

加藤委員

今年の特別展「乱世の終焉」は根城南部氏に関するものを取り上げるということで、今からわくわくしています。南部町の聖寿寺館、三戸城、九戸城といった周辺の城も関連イベントに加わっておりますので、大変楽しみにしています。

去年からコロナ禍で学芸員の皆さんも大変だと思いますけれども、クイズなど新たな企画も考えていただき、非常にありがたく思っております。

子どもさん方に歴史に興味を持ってもらいたいと思っておりますので、マンガやクイズなどを活用して興味をもってもらおうというのもいい方法だと思います。今年は楽しい企画がいっぱいあるようですので非常に期待しております。

工藤会長

若い人が来やすい、活用しやすい博物館という話がありましたけれども、幼稚園児に向けた博物館という観点でもよろしいです。何かございますか。

正部家委員

幼稚園の子どもたちに博物館はちょっと敷居が高いと思いますが、史跡根城の広場であれば興味が持てるのではないかと思います。

根城の広場に関連して、先日、大イチョウをちょっと見ましたら、もうだいぶ老木といった様子で何かしらのケアが必要だろうなと思っています。樹木医の方とかに診ていただくなど予定はあるのでしょうか。資料を拝見すると施設の維持管理に費用もかかっており負担になるかと思いますが、その点教えていただければと思います。

工藤委員

イチョウの話題ですので、イチョウWeek(ウィーク)!も含めてちょっと紹介してほしいと思います。

事務局

昨年度の史跡根城ワーキング会議のなかで、樹木医の方を含む植物の専門の方に診ていただいたところ、大イチョウの根の部分が弱っていることが分かりました。根本の土の入れ替えをしなければ、回復が見込めないのではないかと
の意見もありましたので、史跡内の植栽管理計画とあわせて、整備の方向性を検討しているところでございます。

あのイチョウは根城に城があった時代から唯一ここに残るものだと伝えられております。非常に美しい紅葉を見せるということが多くの人に知られてきていなかったということもありましたので、ワーキング会議の意見を踏まえイ
チョウWeek(ウィーク)!として、昨年から無料開放の日を設けております。

周辺の小中学生、地域の方々など大変多くの方においでいただくことができました。今年度も引き続き大イチョウの保護も含めて活用を検討していきたいと考えております。

工藤委員

根城の活用については、平間委員の方にもいろいろ博物館と協議して進めてきたかと思っています。いくつか紹介していただいているですか。

平間委員

史跡根城ワーキング会議のメンバーになったことを契機に、子育て中のお母さんたちを誘って何度か足を運ばせていただきました。

今、歴史とかお城とかに興味を持たれる若い方がすごく増えていて、博物館のほか是川縄文館にも行かせていただいたのですが、みな展示の説明に興味深く見入っていたのが印象に残っています。来館した方がインスタで発信するとか、あるいは八戸から離れましても、この魅力を十分に伝えていけるようこ

れからもちょっと連携させていただければと思っています。

私も小さい頃はそうでしたが、博物館は小さいお子さんがにはどうしても怖いイメージがあるようです。自分が小さい時、博物館と行って行くとすごく匂いも独特で怖い感覚はあったのですが、そのこともすごく大切な経験だと思っています。前に行った時はわからなかったけど、幼稚園で来たときはまた違う印象で、小学校に行くと小学校の学びでまた来て、中学校にあがれば今度は中学校の学びでという形で、それぞれの年代でここに足を運んで、新しい発見があるとすごくいいなと思っていますし、親の学びに対しても、たいへん刺激的なものも沢山あると思っています。

館内の展示に関しては、ちょっと工夫が必要なところがあるのかなと思っていますので、若い方たちの意見を吸い取りながら何かいい提案ができればと思っています。

工藤会長

ありがとうございます。博物館というどうしても館の展示を見せたいと考える傾向が強いですが、子どもたちについては屋外での活動にずいぶん活路があるように感じますので、その点も検討していただきたいなと思います。

野田委員から何かありますでしょうか。

野田委員

GIGA スクール構想により生徒一人に一台タブレットが配付されていますし、先生方もどんどん活用するようになってきているので、博物館もからめて歴史の授業で活用できればと考えています。

工藤会長

ありがとうございます。今回、公募委員として新しく就任されました磯沼委員、何かございますか。

磯沼委員

今まではたまに特別展に足を運ぶ程度でしたが、今後は周囲の友人も誘って年間を通して足を運んでみて展示をしっかりと見てみたいと思います。

根城の広場の方にはボランティアの方がいらっしゃいますが、博物館のボランティアの方っていらっしゃるのでしょうか。

事務局

博物館に案内ボランティアはおりません。

磯沼委員

私は学芸員の資格をもっているのですが、博物館のイベントにボランティアを募集しているのであればぜひ参加したいと考えていました。募集していないとい

うことであっても、何かイベントのお手伝いでもよいので博物館に関わる機会があればいいなと考えております。そんな思いもあって今回委員に応募させていただきました。

工藤会長

この件についてどうですか。

事務局

館内ボランティアというと、展示の説明のボランティアということになると思いますが、他の博物館の状況をみていると、うまくいっているところとそうじゃないところがあると感じています。

磯沼委員の発言にあった体験学習のような大人数を相手にする際の補助スタッフがいると、その講座の内容によっては非常に興味をもっていただいて、もともとはボランティアでしたが、そこからグループ活動みたいなことをして、より深く知りたいというように、いい方向に発展していっている事例もございます。こうした方を望んでおりますので、そういう意味でのボランティアスタッフということについては今後検討していきたいと思っております。

工藤会長

事業の種類が多くて、幅が広いですから、いろいろ選択する部分があると思います。ぜひ検討していただければと思います。では、滝尻委員のほうからどうぞ。

滝尻委員

秋季特別展について2点教えて頂きたいと思います。まず1点目は、体験学習の「八戸城下めぐり」についてですが、大正13年の八戸大火で八戸城下は焼けていますので、どういうところをその幕末維新に絡めて巡るか教えていただければと思います。

もう1点は、幕末維新ということで斗南藩の末裔の方々にどういう人がいるかっていうのは追跡することはできるのか、博物館でそのようなことを把握しているのか教えていただければと思います。

事務局

八戸城下めぐりは、例年5月と10月に三八城公園周辺から中心街まで八戸藩に関連する場所を巡っていく内容になっています。

今回は幕末維新版ということで、三八城神社に収められている資料や、南部氏庭園を説明していきたいと考えております。また、ロータリーの辺りや、中心街だと、庄屋さんのお話や幕末の話なども紹介していきます。

滝尻委員

三八城神社、公園、それからロータリーの辺りでここは昔の遠山家ですよとか紹介しても、当時の面影も跡形もないと思います。ない部分を教えるということだと、難しいですね。2点目の信順公の家臣についてはどうでしょうか。

事務局

図書館の南部家文書や、博物館にある南部家文書は調べてみてはいるのですが、家臣の方達が現代の子孫の方とどうなっているかはまだつかめていません。

滝尻委員

今後の課題ということですね。

加藤委員

南部氏庭園の話が出てきたので、一言だけ申し上げます。

実は南部氏庭園の公開が始まってから、市から要請を受けて私たちボランティアがここ10年位ガイドをしてきました。

確かに信順公が来た時代と、今ではその当時の雰囲気はほとんどなくなっておりますけども、南部氏庭園はその中でも貴重な文化遺産には違いないと思っています。そういう意味では、信順公の特別展があるのであれば多少は南部氏庭園も関係があるのではないかと思います。

工藤会長

それと秋季特別展とも重なるわけですね。最後の殿様に出来るだけ迫ってほしいですね。ちなみに図録は刊行予定ですか。

事務局

冊子を刊行予定です。

川口委員

私からは南郷歴史民俗資料館の特別展についてです。南郷の特別展は例年どれも興味深くて、非常に面白いと感じております。去年の「葉たばこ農家の一年」も企画力、展示物ともに大変工夫も凝らされておりました。今年はクジラの村が行われるということでこれも大変興味深く、今から楽しみにしています。

こういった葉たばこ農家の一年もクジラの村も、地域の産業史を知ることと、とても生徒の社会勉強にもなると思います。南郷の方々だけでなく、八戸市内外の人に足を運んでもらいたいと思っております。

南郷歴史民俗資料館の場所を知らない人が多いような気がしてもったいないなと思いますので、この特別展「クジラの村」をきっかけに各方面に更にPRをしていただければ、また南郷が脚光を浴びるのではないかなと思っております。

有馬委員

今日久しぶりに博物館の中を見てまわったのですけども、大きなパネルの展示が増えているなどと思いながら見ていました。子どもたちにとってすごく見やすくなっているのではないのでしょうか。八戸の妖怪のパネルがありました、きっとこれは子どもたちが喜びそうですね。

ポケット学芸員っていうものがありました、これはどういったものか説明をお願いしてもよいでしょうか。

事務局

ポケット学芸員という館内をまわる時に解説を見ることができるアプリです。コロナ禍で、来館者と対面しての解説が難しくなりましたので、非接触で解説を見られる方法はないかと昨年度整備したものです。

展示に番号が貼ってありますが、その番号をクリックすると詳しい解説を見ることができるようになっております。

工藤会長

音声は出ますか。

事務局

まだ文字だけの配信でしたので、これから準備を進めるところです。

事務局

補足して説明になります。今のポケット学芸員は是川縄文館でもサービスを提供しておりまして、あちらは音声で日本語と英語を聴くことができます。このアプリは一回ダウンロードしてしまえば博物館以外でも、あるいはもう一回聞きたいとか見てみたいっていうと、いつでもどこでも見られるようになっておりますので、ぜひご活用いただければと思います。

工藤会長

是川縄文館に追いつくよう博物館にも頑張ってもらいたいと思います。今一度、令和3年度事業計画について、何かございませんか。

有馬委員

資料にミニパネル展っていうのがありますが、これは防災の日の関連行事でやっているものかと思います。時間の経過とともに大震災の記憶も薄れ、教訓も薄れということになってきますので、パネルを展示するだけじゃなくて、3.11の映像などもぜひ流していただければと思います。

天災は忘れたころに来ると言われるように、また大きい地震が発生すると思いますので、大震災の教訓を忘れないような展示していただければと思います。

工藤会長

ありがとうございます。たしかに防災関係の展示がやっぱりちょっと目立たないなという感じするので、いろんな動画資料も集めて展示をバージョンアップしてもよいかと思いますが、どうでしょうか。

事務局

展示室内で音を出してというのは難しいかなと思いますが、写真や映像だけであれば可能性はあろうかと思います。提案の件は防災危機管理課などに確認してみたいと思います。

工藤会長

すぐということでもなくとも、検討していただければと思います。

そのほか何かありますか。ないようですので、それでは（3）その他に移ります。

（以下、事務連絡等）